



平成 30 年 5 月 17 日

各 位

会 社 名 兼松サステック株式会社
代表者名 取締役社長 高 崎 實
(コード：7961 東証第一部)
問合せ先 経理部長 田中 昭浩
(TEL. 03-6631-6600)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 17 日開催の取締役会において、下記のとおり、平成 30 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成 29 年 5 月 8 日公表)	前期実績 (平成 29 年 3 月期)
基 準 日	平成 30 年 3 月 31 日	同左	平成 29 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	20 円 00 銭	同左	4 円 00 銭
配当金総額	82 百万円	—	165 百万円
効力発生日	平成 30 年 6 月 4 日	—	平成 29 年 6 月 22 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。前期実績の 1 株当たり配当金につきましては、当該株式併合前の実績を記載しており、これを当該株式併合後に換算いたしますと、1 株当たり 40 円 00 銭となります。

2. 理由

当社は、利益配分について、収益力の向上による経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様への業績に裏付けられた適正な利益還元を行うことを最重要課題と位置づけております。また、内部留保金は、業績が景気動向に左右される中で、市場競争力ならびに収益の維持、向上に不可欠な設備投資、研究開発を的確な時期に行っていくために極めて重要であり、株主の皆様の利益を長期的に確保することになると考えております。

当社では近年の業績回復により財務体質の改善が進み、前々期に 1 株当たり 2 円 50 銭の期末配当で復配、前期は増配し 1 株当たり 4 円 00 銭の期末配当を実施いたしました。当連結会計年度も各事業は好調に推移しましたため、当期の剰余金の配当につきましては、期末配当は 1 株当たり 20 円 00 銭とし、中間配当金を加えた年間配当金は 1 株当たり 40 円 00 銭といたしました。

(参考) 年間配当の内訳

基 準 日	1 株当たり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期末	合計
当期実績	2 円 00 銭	20 円 00 銭	—
前期実績 (平成 29 年 3 月期)	0 円 00 銭	4 円 00 銭	4 円 00 銭

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しましたため、平成 30 年 3 月期の 1 株当たり期末配当金は当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金は、「—」で記載しております。

なお、当該株式併合の割合に応じて換算すると、平成 30 年 3 月期第 2 四半期末の 1 株当たり配当金は 20 円 00 銭となり、期末配当金 20 円 00 銭を加えた 1 株当たり年間配当金は 40 円 00 銭となります。

以 上